土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.1-西ノ谷川補助基準点2	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 02.3150″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 8月 8日～ 令和4年 8月 9日	東経	132° 33′ 13.3462″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 182.15m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO / エンジン：ヤンマーNS12 / ポンプ：東邦BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	180.65	1.50		礫混じり砂		灰褐	rd3		砂は中～粗砂を主体とする 径7cm以下の礫を30～50%混入する 部分的に径10～30cm程度の玉石が点在する	8/8 0.60
2	180.15	2.00		玉石・礫混じり砂		淡灰褐			径10～30cm程度の玉石が混在する 玉石間は径5cm以下の礫を混入する砂	8/9 2.60
3				礫混じり砂		灰褐	rd4 rd2		径7cm以下の礫を30～50%混入する 砂は中～粗砂を主体とする 部分的に礫の混入量が増加し砂礫状を呈する 礫の混入が減少する所では緩い状況である	
4	177.85	4.30					rd3			
	177.45	4.70		玉石混じり砂		淡灰			径10～30cm玉石が連続的に混在する	
5	176.45	5.70		花崗岩		淡褐灰	rd5		CL級岩盤 径5cm以下の礫状～岩片状コアで採取 亀裂面は暗褐色に変色する	8/8
6	175.45	6.70		花崗岩		淡灰			CM級岩盤 L=5～15cmの短柱状～柱状コアで採取 亀裂面は淡褐色に変色する 部分的に亀裂沿いは細礫化する	
7	174.15	8.00		花崗岩		淡灰			CH級岩盤 L=50cmの柱状コアで採取する コア肌は滑らか GL-7.75m付近より全漏水する	8/9
8										
9										
10										
11										
12										
13										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
13	1.15	3	6	4	13/300		
	1.45						
36	2.15	19	9	8	36/300		
	2.45						
9	3.15	3	3	3	9/300		
	3.45						
46	4.15	6	21	19	46/300		
	4.45						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				8/8 8/9